

第 1 学年 2 組 国語科学習指導案

指導者 鹿北中学校 教諭 水町泰祥
教諭 原武聡子

1 題材 「少年の日の思い出」(新しい国語 1 東京書籍)

2 題材について

(1) 題材観

時を経ても読み続けられている文学作品は、豊かで多面的なものの見方を教えてくれる。読み手の発達段階により、登場人物への思いはさまざまであると思われるが、人物の言動からさまざまな感想や意見をもつことは意義あることである。

本題材は、主人公の人間的な葛藤や交流と生徒自身の体験を重ね、人間の心の在り方や生き方について考えることができる作品である。また、現在と回想の二つの部分からなっており、構成の工夫や表現上の特色をとらえるのにふさわしい作品でもある。

(2) 系統観

第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
「さんちき」 ・文章の展開を確かめて、主題を考える。	「父のようにはなりたくない」 ・自分のものの見方や考え方を広くする。	「卒業ホームラン」 「ごはん」 ・人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ。
◎「少年の日の思い出」 ・文章の構成や展開を正しくとらえ、考えを深める。	「走れメロス」 ・文章の特徴をとらえ、自分の考えをもつ。	「故郷」 ・人物の生き方をとらえ、感想を深める。

(3) 生徒観 (男子 16 名、女子 14 名、合計 30 名)

事前のアンケート調査の結果は以下のとおりである。(人)

(4 段階評価で 4 が最も高い評価)

項 目	4	3	2	1
読むことの学習は好きですか。	10	17	3	0
物語・小説の学習は好きですか。	13	13	4	0
授業の中で、自分の考えがきちんともてていますか。	3	17	10	0
登場人物の気持ちの変化や表現の工夫がわかったことがありますか。	3	17	10	0
チョウに興味がありますか。	ある	2	ない	28

説明文に比べると物語や小説の学習に意欲的に取り組むことができる。しかし、自分の考えをもてなかったり、考えをもてても自信がなく進んで発表できなかったりすることがある。班活動も取り入れているが、まだまだ不十分な面がある。

(4) 指導観

初発の感想や課題を共有する場を設け、主体的な読みを促すようにする。また、読みをお互いに深め広げるために、グループ学習を取り入れるようにする。さらに、根拠を明らかにして自分の考えをもてるようにし、簡単な討論形式で話し合うことで考えを深めていけるようにしたい。

3 研究テーマ(部会)との関連

【「読むこと」部会テーマ】

読みをお互いに深め広げ合う手立ての工夫

(1) 基礎・基本の徹底

① 「読むこと」トレーニング

授業の最初にスキルドリル学習を継続して行う。

(2) 授業づくりの工夫

① 場の設定の工夫

個人読みの時間を確保し、自分の考えをもてるようにする。また、考えを深め、発表への意欲を高めるためにグループ活動を取り入れる。まとめの場面では、学級全体で話し合う場を設定し、考えを深め広げられるようにする。

(3) 評価の工夫

① 学習シートの工夫

自分の考えの変化がわかるようなシートを活用する。自己評価や相互評価もできるようにしておく。

4 学習指導の目標

- ◎文章に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を広くすることができる。 C-オ
- 文章の展開や構成の工夫をとらえることができる。 C-エ
- 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつことができる。 言(1)-ウ

5 指導と評価の計画 (5時間取り扱い)

時	学 習 活 動	評 価 基 準	評価方法
1	本文を読み、感想と疑問点(課題)をまとめる。	内容に関心をもち、感想をまとめている。	観察 シート
1	文章の展開をとらえ、構成の工夫について考える。	文章の構成上の工夫を理解している。	シート 発表
1	僕とエーミールの考え方や性格を比較する。	文章表現から、登場人物の考え方や性格をとらえている。	シート 発表
1	「僕は本当に許されないのか」について自分の考えをまとめる。	根拠を明らかにして、自分の考えをもっている。	シート 観察
1 本 時	根拠を明らかにして自分の考えを発表し、話し合いを通して考えを深める。	話し合いを通して、友達の考えから共感したことをまとめている。	シート 発表

6 本時の学習

(1) 本時の目標 (5 / 5)

根拠を明らかにして自分の考えをもち、話し合いを通して共感したことをまとめることができる。

(2) 評価

評価項目	評 価 基 準	つまずきへの手だて
関心・意欲・態度	根拠になる部分をもとに自分の考えを発表しようとしている。	根拠になる部分を確認し、自分の考えを発表できるように促す。
読むこと	友達の考えから共感したことをまとめている。 話し合いを通して深まったことや新しく考えたことをまとめている。 B A	一番参考になったり、共感したりした友達の意見を参考にまとめるように助言する。

(3) 展開

過程	徹底	形態	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応
導入 10分	徹底	一斉	1 読むことトレーニングをする。 2 本時の目標を確認する。 目標：「僕は本当に許されないのか」について話し合い、	1 シートに書き込む。 2 声に出して確認する。
展開 10分 15分	能動	班 一斉	3 課題について話し合う。 班で考えを交流し、まとめて発表しよう。 全体で交流し、自分の考えを深めよう。	3 考えと根拠を発表する。 「許されない」 ・自分でも償いできないと悟ったから。 ・エーミールはさなぎからかえすほど大切にしていたから。 ・自分でも盗みをした下劣なやつと思っているから。 ・母親の態度や言葉から盗みは許されないとわかるから。 「許される」 ・迷っていたが、自分で謝りに行ったから。 ・謝るだけでなく、償いをしようとしたから。 ・自分のチョウを全て押しつぶしたから。 ・盗んだことは悪いが、チョウを大切に思う気持ちは強いから。
まとめ 15分	徹底	個 一斉	4 考えをまとめる。 考えが深まったことや変化したことをまとめよう。 5 学習を振り返る。 ・自己評価をしましょう。	4 話し合いを通して、深まったことや変化した考えを書いている。 5 活動を振り返り、評価カードに記入する。

教師の指導・支援	評価（評価方法）	備考
<p>考えを深めよう。</p>		<p>トレーニングシート</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○前時に班分けをしておき、班活動をしやすくしておく。 ○根拠を明らかにできるように、それぞれの立場に一人ずつ教師がつき、助言を行う。 ○それぞれの立場から一班ずつ、発表を行い、残りはフロアとして考えや質問を出していくようにする。 ○簡単な討論形式で行うため、司会は教師でする。 ○発表ができないでいる生徒には、同じ考えが出たときに、続けてできるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明らかにして、自分の考えをもち、発表しようとしている。（観察・シート） 	<p>シート</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○深まりや広がりがあるものを発表できるようにする。 ○書けない生徒には一番参考になった友達の意見や共感した意見をもとに書くように助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えから共感したことをまとめている。（観察・シート） 	<p>自己評価カード</p>